

● プレートラン用サンプル調製法

- 1) 酵素反応後の精製・乾燥済みサンプルに、Hi-Di Formamide (ABI: P.N.4311320) を 20 μ l 加えて溶かします (注 1)。
- 2) 1) のサンプル溶液を当方指定の 96 ウェルプレートに 10 μ l ずつ入れてください。入れる順番は、A1→H1 の方向へお願いします (下図参照)。

行/列	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	サンプル 1	サンプル 9	・									
B	サンプル 2	サンプル 10	・									
C	サンプル 3	サンプル 11	・									
D	サンプル 4	サンプル 12										
E	サンプル 5	サンプル 13										
F	サンプル 6	サンプル 14										
G	サンプル 7	サンプル 15										
H	サンプル 8	サンプル 16										

- 3) 再泳動に備えて、残りのサンプル溶液は-20℃で保管してください。
- 4) プレートはセプタでカバーし、氷冷して、センターの 3 階、研究室 3 までお持ち下さい。96℃での変性は必要ありません。(注 2)

●その他

(注 1) Hi-Di Formamide は、一回で使い切る量をチューブに小分けして-20℃で凍結保存してください。何度も凍結融解を繰り返すと蟻酸が生じ、泳動条件が悪化します。

(注 2) Hi-Di Formamide に溶解したサンプルを保存する場合には、-20℃でお願いします。保存後 1 ヶ月程度は解析可能なピークが得られます。

*XTerminator で精製する場合には、「XTerminator 精製プロトコール (詳細版)」を参照してください。